



お知らせ

平成29年 9月20日

資料提供先：鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

平成29年9月17日から18日にかけての出水の殿ダムの効果について【速報】

「殿ダムへの流入量が過去最大を記録しました」

殿ダム流域では、平成29年9月17日から18日にかけての台風第18号による大雨により、流域平均総雨量156mmを記録しました。

このため殿ダムでは、流入量が毎秒約130m³に達し、平成24年4月の管理開始以来、最大の流入量となりました。

これを受けて、殿ダムにおいては、防災操作を行い、毎秒約110m³の水をダムに貯留しました。

その結果、下流の中郷橋付近で水位を0.37m低減する効果があったと推定されます。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435 (代表)：(平日・昼間)

副所長 つねやす 常保 まさひろ 雅博 (内線 204)

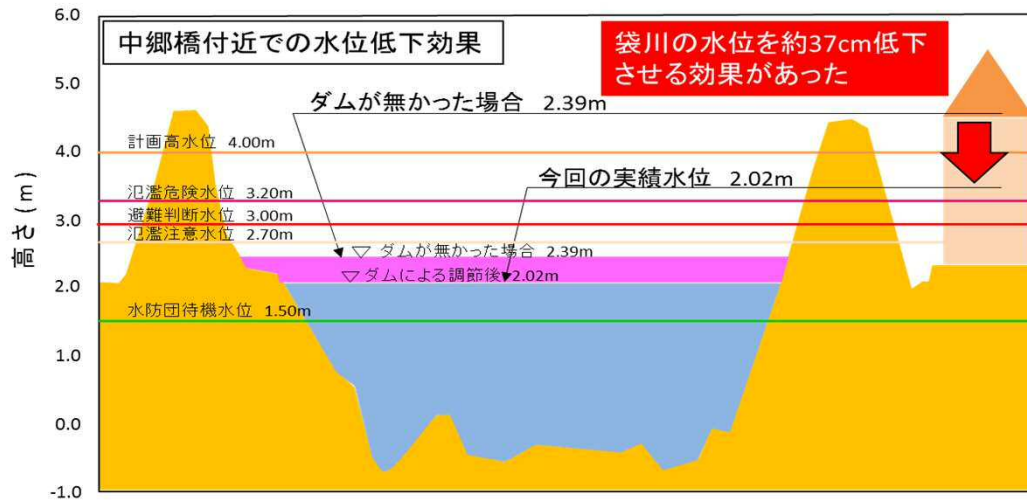
【担当】殿ダム管理支所長 みちもり 道盛 かずよし 万誉 (内線6321)

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

ダム整備が効果を発揮(鳥取県 殿ダム)

- 平成29年9月17日から台風18号による大雨によって、袋川で洪水が発生。
- 殿ダム流域では、9月17日15時から18日6時にかけて累計で155.5mmの大雨となった。
- 殿ダムへ最大流入量は毎秒130m³(管理開始後最大) そのうち毎秒110m³をダムに貯留。
- 殿ダムによる防災操作で、袋川中郷橋付近(ダム下流約10km、鳥取市国府町宮ノ下小学校付近)において約0.37mの水位低下ができたものと推定される。



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。